

未来志向の交通ターミナルの創造

MaaS、自動運転、シェアリングなど今後のモビリティ社会のニーズに対応するためには、道路と交通拠点を一体として捉え、新技術を積極的に組み入れた、未来志向の交通ターミナルを創造（バスタプロジェクト）していく必要があります。このため、近畿地方整備局では、神戸三宮駅交通ターミナルの整備を官民連携で進めるとともに、高速道路SA・PAと連携した交通拠点やリニア中央新幹線等の整備を踏まえた交通拠点など、地域の街づくりと一体となった交通拠点を検討していきます。

神戸三宮駅交通ターミナル整備事業（令和2年度事業化）

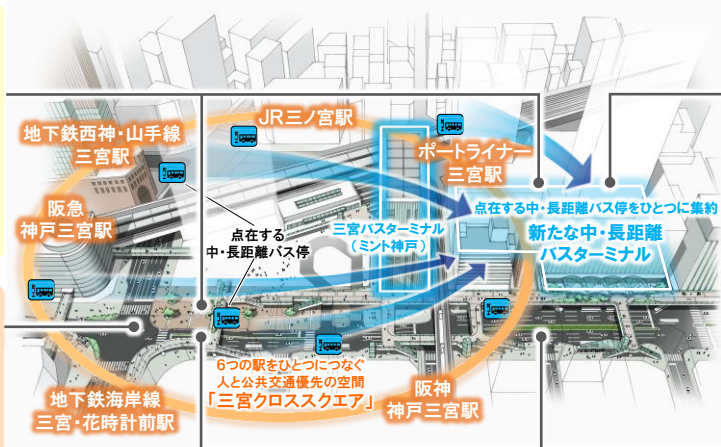
ひと・モノ・交通が行き交う新たな“港”＝未来型駅前空間の創出

4つの基本コンセプト	人の交流の拠点となる象徴的な空間に	交通とモノが行き交う新しい交通結節点に	進取の気風あふれる環境に	神戸が培ってきた経験や知恵を活かした空間に	
5つの整備方針	①魅力的な駅前空間の整備及びまちの回遊性向上	②中・長距離バスターミナル整備によるモーダルコネクの強化	③まちの防災拠点	④未来志向の移動支援導入	⑤国道2号周辺の交通円滑化

～6つの駅と点在する中・長距離バス停をひとつに～

防災都市・神戸の駅前防災拠点
三宮クロススクエアで災害情報や公共交通機関の運行情報等を提供
再開発ビルを一時滞在施設等として活用するとともに、新バスターミナルに鉄道の代替輸送機能等を整備

魅力的な駅前空間を創出する三宮クロススクエア
道路を人と公共交通優先の空間に転換する「三宮クロススクエア」により、「ひと」中心の空間を地上に整備



集約型公共交通ターミナル
中・長距離バスや新たなモビリティなど、多様なモードを利用しやすい新たな交通結節点を整備

人の賑わいと回遊性を創出するデッキ
三宮クロススクエアと再開発ビルが一体となった賑わい空間の創出や神戸三宮駅前空間の回遊性を向上するためのデッキを整備

回遊性を向上させるモビリティネットワーク
道路や神戸三宮駅前空間の回遊性を向上させる新たなモビリティネットワークを構築



複合施設一体型のバスターミナル



バス乗降空間のイメージ（1階）